

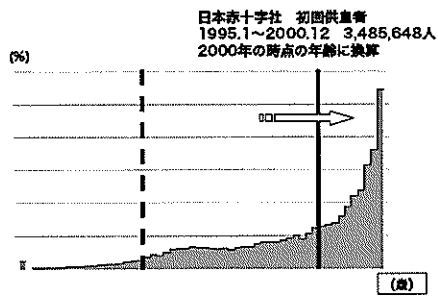
わが国におけるHBV、HCVキャリア数

-肝炎ウイルス検診により把握した数と
自覚しないままの状態で見逃されると推計される数-

属 性	HBV	HCV
肝炎ウイルス検診(把握数) (2002~2003年の受診数)	4.7万人 (377.2万人)	5.5万人 (375.4万人)
40~69歳人口(推計数) (2000年時点の年齢)	71.4万人 (5073.4万人)	76.0万人 (5073.4万人)

() 母数

年齢階級別にみたHCV抗体陽性率とその推移

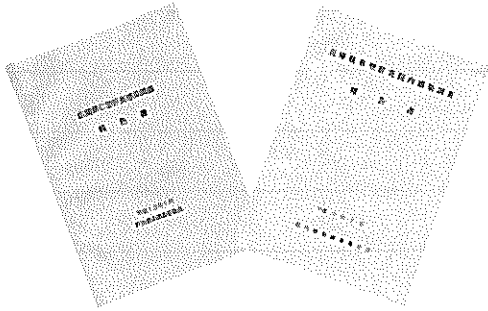


厚生労働省 C型肝炎ウイルス研究会

今後の課題

- 肝炎ウイルスキャリア発見率の向上
 - ・ 「肝炎ウイルス検診」受診率の向上
 - ・ 大企業の「健康保険加入者」への対処
- 医療機関への受診率の向上
- 組織的な健康管理、治療ネットワークの整備
- 健康管理、治療指針の設定

肝炎ウイルス感染の予防

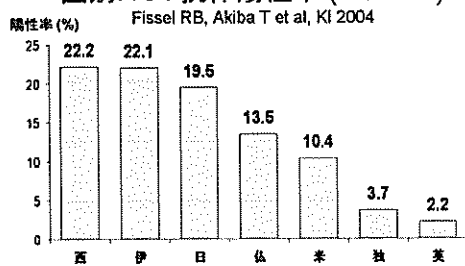


チンパンジーを用いた
HCVの感染実験により得られた結果

1. 感染成立に必要な最少HCV量は、invitroで表示されるHCV RNA量に換算して、10コピーオーダーである。
2. 感染早期の末梢血中におけるHCV RNAの増加速度は、doubling timeが6.3~8.6時間、log timeが1.3日~1.8日である。
3. 感染既往者由来の凍結血漿 (FFP: HCV抗体陽性、HCV RNA陰性) を輸注してもHCVの感染は、おこらない。

Division of Blood Purification, Kidney Center

国別HCV抗体陽性率 (DOPPS)



Tokyo Women's Medical University

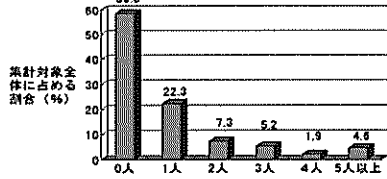
緊急報告

日本透析医学会・日本透析医会 2004年4月

慢性透析施設あたりのHCV抗体陽転化患者数の分布

累計対象 940施設, 49, 026名

平均陽転化率2.2人/100人・年

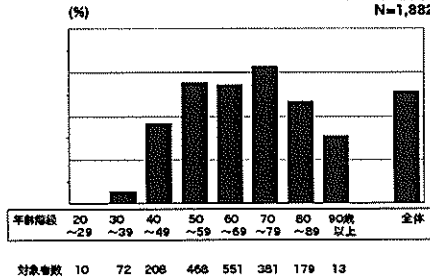


■HCV抗体陽転化患者数

Tohoku Women's Medical University

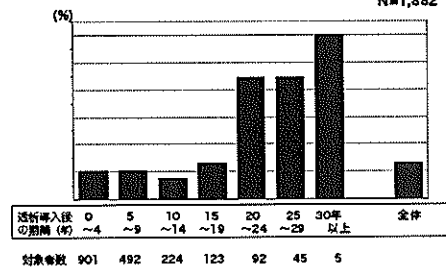
年齢階級別みたHCV RNA陽性率

-2003.2.広島9施設-
N=1,882



透析導入後の期間別みたHCV RNA陽性率

-2003.2.広島9施設-
N=1,882



透析導入後の期間別にみたHCV RNA陽性率および背景

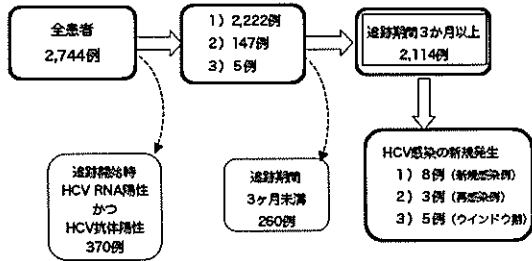
-2003.2.広島9施設-
N=1,882

透析導入後の 期間(年)	例数	HCV RNA 陽性者数(%)	透析導入 年齢	輸血後肝炎 時期	発生率
30 ~	5	3 (60.0)	56.0 ± 6.4	1968 ~ 1972	16.2%
25 ~29	45	20 (44.4)	58.4 ± 6.9	1973 ~ 1977	9.6%
20 ~24	92	41 (44.6)	56.9 ± 9.3	1978 ~ 1982	19.3%
15 ~19	123	16 (13.0)	60.1 ± 10.9	1983 ~ 1987	12.3%
10 ~14	224	17 (7.6)	58.7 ± 11.1	1988 ~ 1992	3.1%
5 ~9	492	51 (10.4)	62.0 ± 13.3	1993 ~ 1997	およそ0%
0 ~4	901	94 (10.4)	64.8 ± 13.3	1998 ~ 2002	およそ0%

1989 輸血用血液のHCV e100-3 抗体スクリーニング導入
1990 ヒトエリスロポエチン (hEPO) 製剤併用導入
1992 輸血用血液のHCV 抗体検査 (第二世代) スクリーニング導入

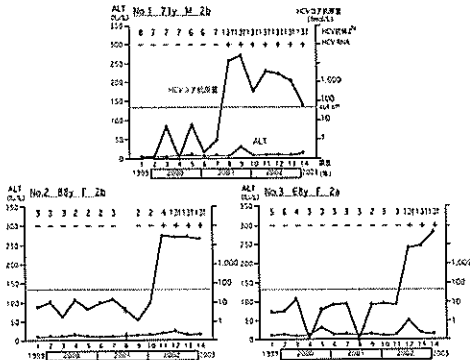
HCV感染の新規発生率

1999.11~2003.2
広島9施設

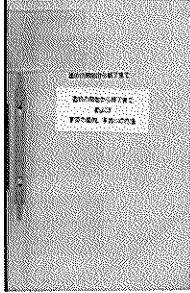


HCVキャリアの新規発生率 =16人/58,720人月
=0.33人/100人年

HCVの再感染が起こった3例の経過

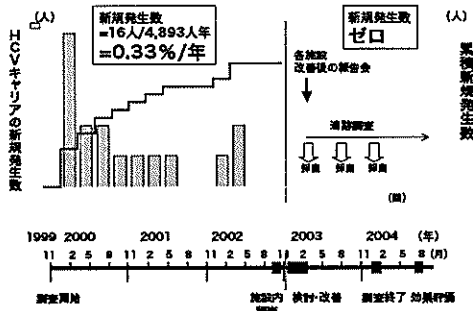


血液透析施設におけるHCV感染防止のための指針
(写真による解説：冊子とスライド)を用いた
施設毎の改善策および講習会

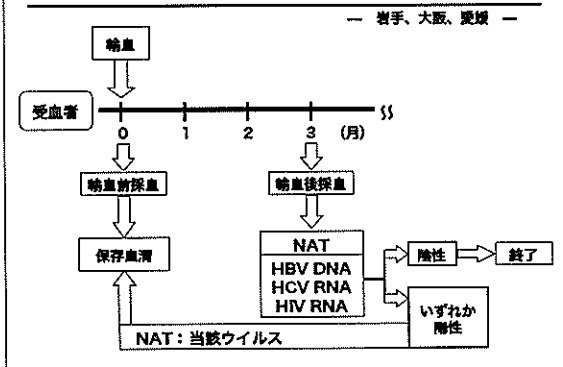


- 1: 透析室環境
 - 1) 透析室の区域化
 - 2) 患者用ベッド間隔の確保
 - 3) 廃棄区域の改善
 - 4) 手洗い場の改善
- 2: 器具・器材、薬剤
 - 1) 使い捨て器具・器材
 - 2) 再利用器具
 - 3) 薬剤
- 3: スタッフのトレーニング
 - 無菌操作の基本 -
 - 1) 手洗いのタイミング
 - 2) 正しい手洗いの着脱法
 - 3) 手袋をはずすタイミング

血液透析患者集団におけるHCVキャリアの新規発生数
および感染防止のための改善とその効果



受血者の全数調査の手順



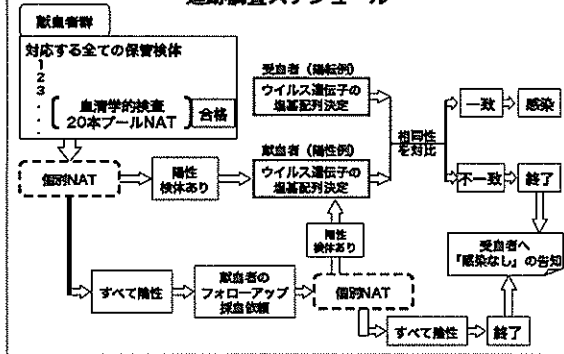
受血者の全数調査

— 2003.11~2004.11 —
岩手、大阪、愛媛

検査項目 (NAT)	輸血後3ヶ月目の検査数	陽性数 (%)	うち、陽転数 (輸血前検査で陰性数)
HBV DNA	637	21 (3.3)	5 (0.8)
HCV RNA	627	59 (9.4)	2 (0.3)
HIV RNA	626	0	0

N=689、中間集計

輸血に伴う感染(疑い)例発生時の追跡調査スケジュール



輸血前と輸血後の検査

